

## 自己紹介

株式会社オシンテック 代表取締役  
神戸情報大学院大学 客員教授

# 小田 真人

前職は、電通グループIT企業で  
シンガポールに6年駐在していました



# 創業のきっかけ





## 中国のエコカーは？

(Unit : 1000)

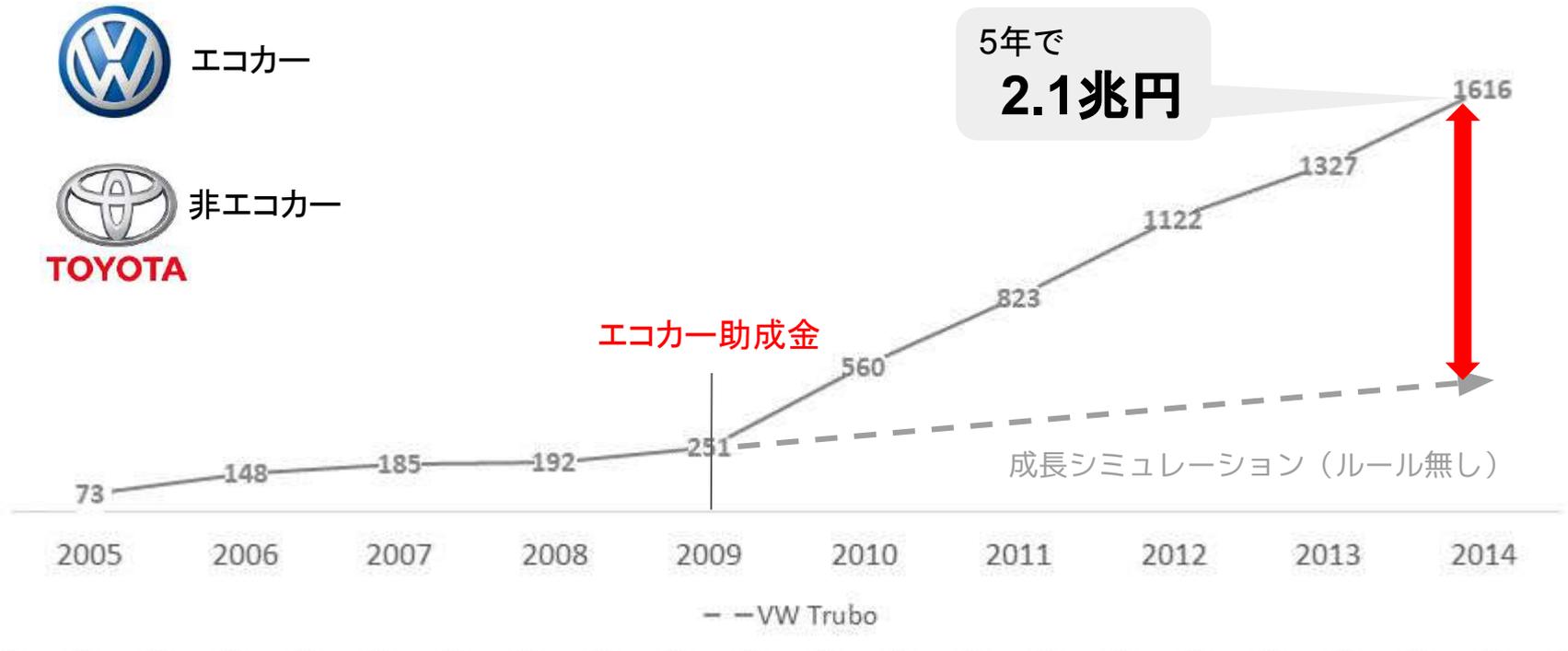


エコカー



非エコカー

TOYOTA



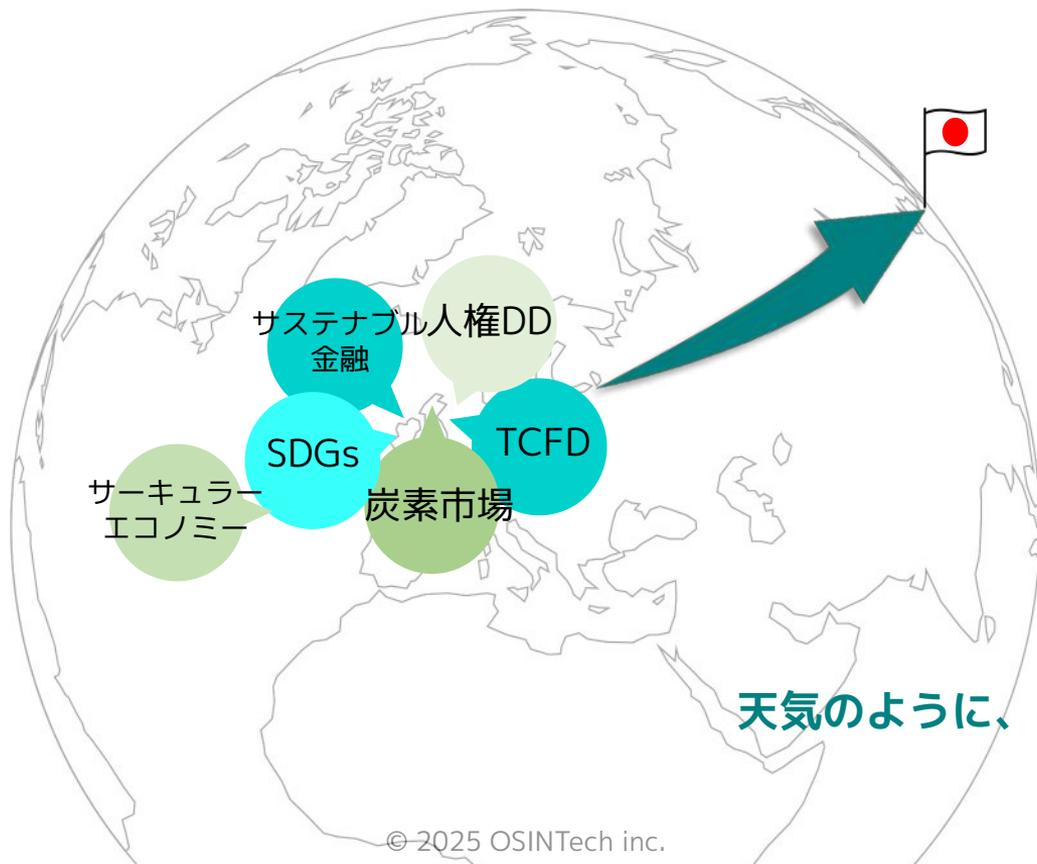
Source : [https://www.meti.go.jp/committee/kenyukai/energy\\_environment/global\\_energy/001\\_haifu.html](https://www.meti.go.jp/committee/kenyukai/energy_environment/global_energy/001_haifu.html)

いつ、誰が、どうやって決めた？

## 環境や人権の倫理を軸としたルールは国境を越える



## 環境や人権の倫理を軸としたルールは国境を越える



天気のように、数年かけて西から。

**自動翻訳**技術を使って  
ルールトレンドを可視化できないか。

## コンセプトを掲げて2018年に起業



しかし、この事業を理解する人は多くなかった。

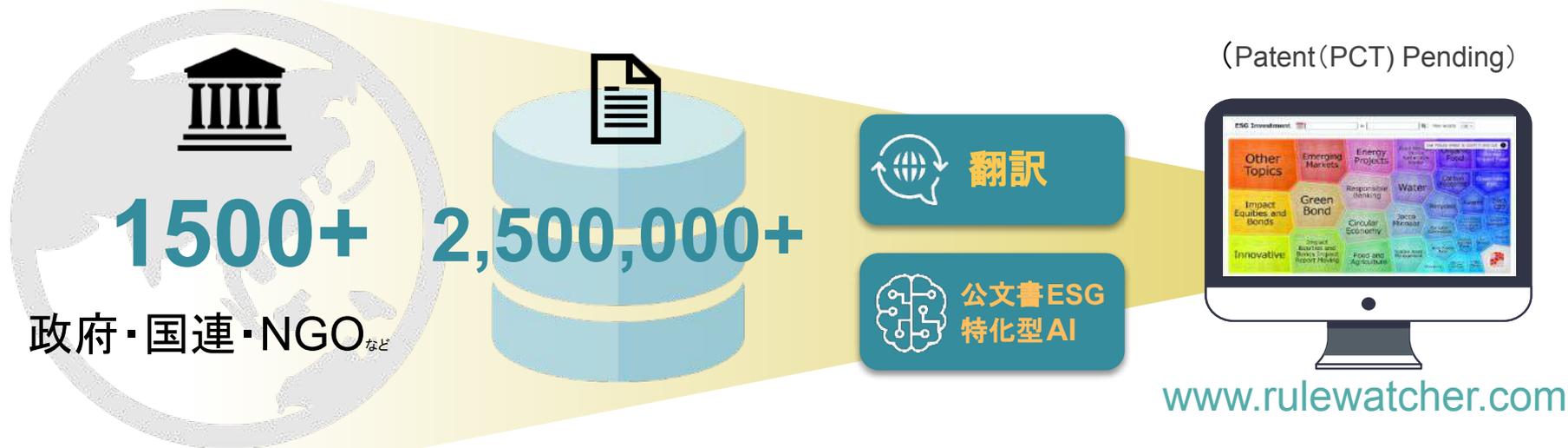
環境・人権の一次情報を可視化する

# RuleWatcher

2020年6月ローンチ



# 1500を超える公的サイトから収集したデータを自然言語処理で可視化





気候変動（緩和）



生物多様性



水資源



サーキュラーエコノ...



ブロックチェーン



# 16の持続可能性に関わるデータ群に整理分類



海洋プラスチック汚染



気候変動（適応）



ビジネスと人権



食料システム



世界の人権



Beyond Capitalism



ESG投資



個人情報保護



自動運転



世界の教育 (Apr-)

# DEMO

さまざまな課題に対して活用されるように。

- 水素ビジネス戦略立案
- 一回性プラスチック規制の国際調査
- ネガティブエミッション動向把握
- 気候難民専門家会議プラットフォーム
- 世界最大太陽光パネル設置による生物多様性毀損の問題
- メディアのファクトチェック

など

## 2022年2月 倫理的な人工知能プロジェクトとして認定（ユネスコ）



ユネスコ「人類の利益のための持続可能な開発のための人工知能ソリューション」  
グローバルトップ100（日本はRuleWatcherのみ）

## 2024年4月 国連 World Summit Award受賞



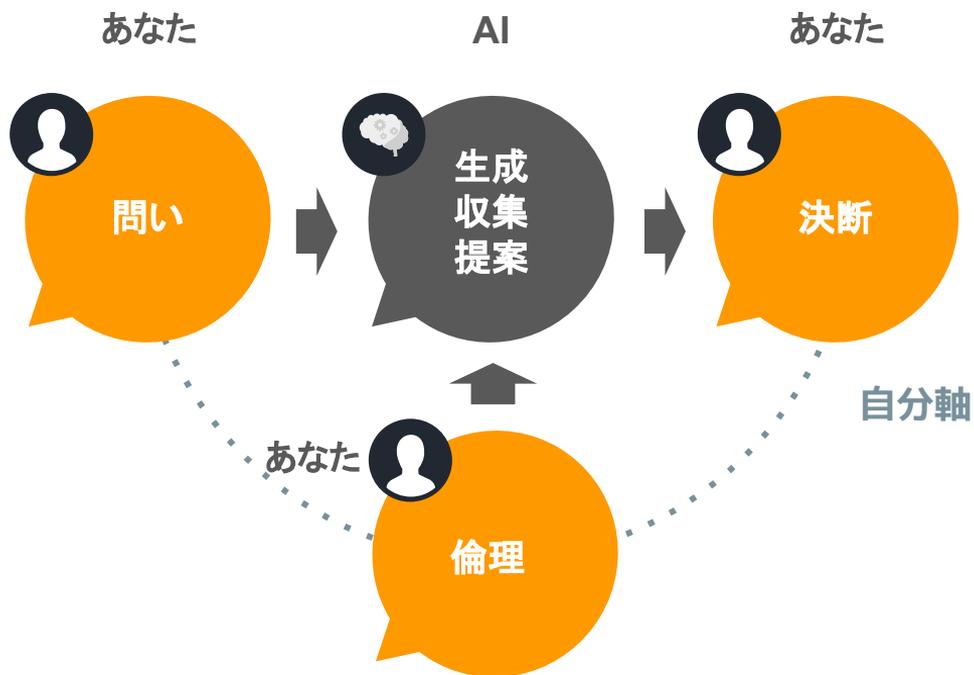
国連「世界情報社会サミット」で受賞  
(日本からはRuleWatcherのみ)



# AI時代の当たり前を見据えた 教育分野に進出

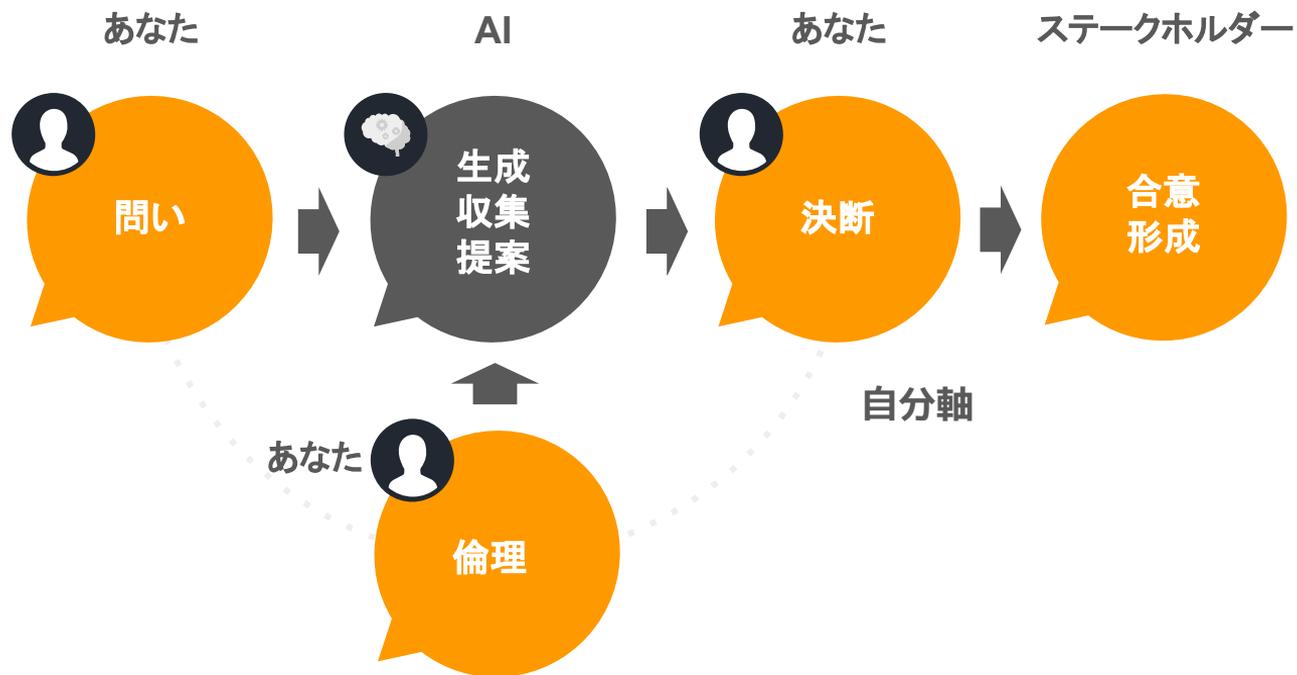
## 人が行うべき、より大事になること

生成AIの登場で「問い」を立てること「決断」すること「倫理」を考えることこそが、人間に求められるようになる。



## 他者とともに答えを創る「合意形成」

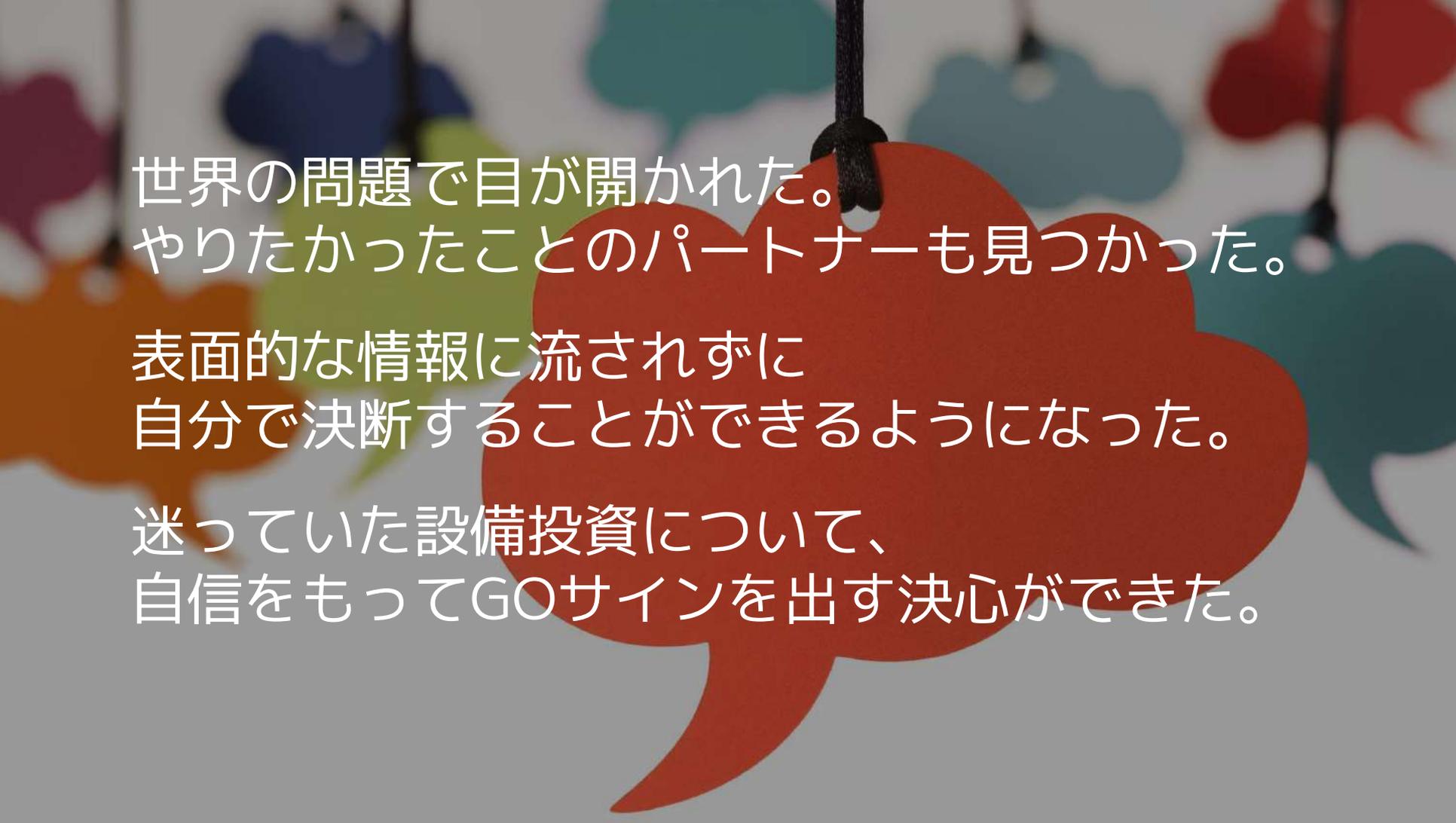
決断をしたら、ステークホルダーと共に答えを創ることもまた、より大切になってきます。



- 自分の軸で判断し、情報を扱える力
- 他者とのより良き合意をつくる力
- 内発的動機をもとに、物事を実現する力



2022年7月  
探究インテリジェンスプログラム開講



世界の問題で目が開かれた。  
やりたかったことのパートナーも見つかった。

表面的な情報に流されずに  
自分で決断することができるようになった。

迷っていた設備投資について、  
自信をもってGOサインを出す決心ができた。

持続可能な  
離島のモデル

By 医療家

政策で日本の  
「断熱」

By 政策立案者

宇宙で使える  
電池を

By 製造業

森林保全  
のデータ化で  
現地雇用を

By 国際協力団体  
メンバー

政策立案プロ  
セスの透明化  
を実現する。

By 衆議院議員

多文化共生の  
ロボコン開催

By 弁理士

次世代の  
環境共生型の  
橋を普及する

By 橋梁設計

移民のための地  
域終活サポート

By 物流

海洋プラ回収  
ムーブメントづ  
くり

By 広告代理店

修繕技術を世  
界に

By 政策立案者

地方創生の  
尖った学校を

By 教育起業家

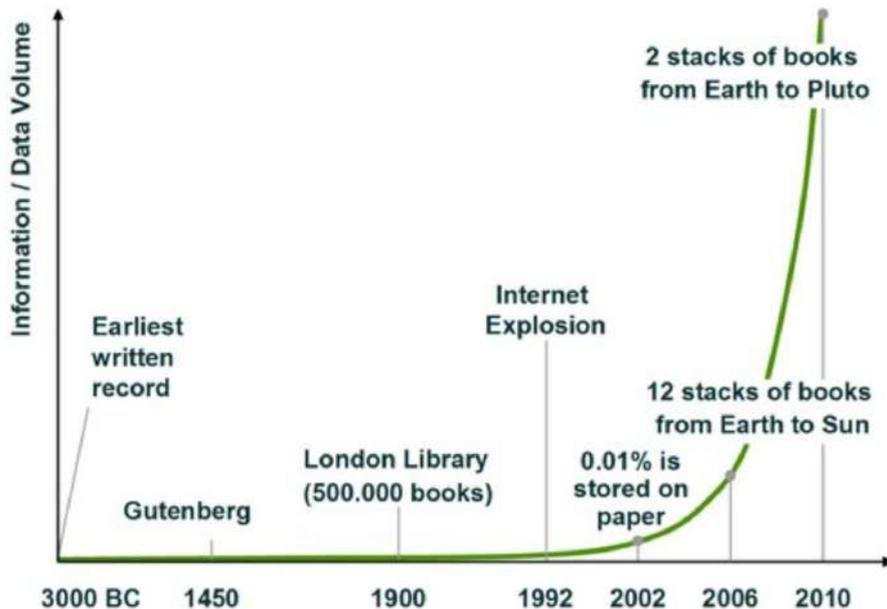
日韓協力で  
ルワンダに  
女性チャンピオン  
を育成

By ゴルフコーチ

情報との付き合い方が変わった

## 土砂降りのような情報量・・・奪われる判断のパワー

読み切れないほどの膨大な情報に疲弊……。取捨選択することが一層大切に。



グラフ出典：Towards Data Science

さらに、批判者も不足している

日本の低ランクを解説する記事：DW.com

報道の自由度ランキング※で、日本は  
**180か国中68位。**

「記者クラブ」などの**報道制限の機能**  
は依然強く、ジャーナリズムが不足し  
ていると言われている。※国境なき記者団  
(Reporters Without Borders・以下RSF) による

SOCIETY | JAPAN

## Why Japan ranks poorly in press freedom

Julian Ryall in Tokyo  
05/08/2023

Japan ranks the lowest among the Group of Seven nations when it comes to media freedom. Journalists' vulnerability to government and business pressure as well as a culture of self-censorship are to blame, say experts.



## そのうえ、アルゴリズムによって情報の分断も

隣の人の検索結果は表示順位が違う。

これは特定の文書などにランク（順位）をつけ、関連性が高いと判断されたものから順番に**上位表示させるアルゴリズム**によるもの。



## 偽情報・誤情報

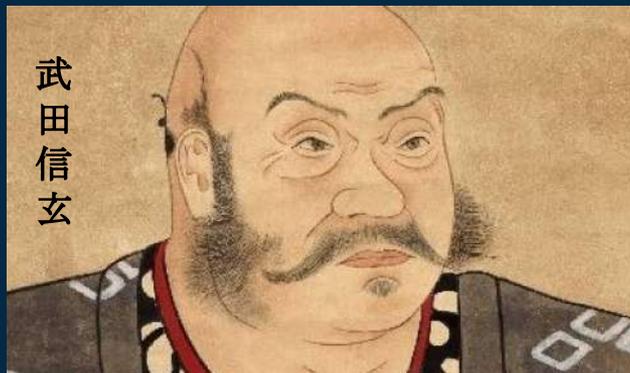


## 注意力の危機



# 判断力の差は・・・

## 情報の差



## 視界の差



視点を変えろ  
視野を広げろ  
視座を上げろ

Generated by Image FX

不思議に思われる

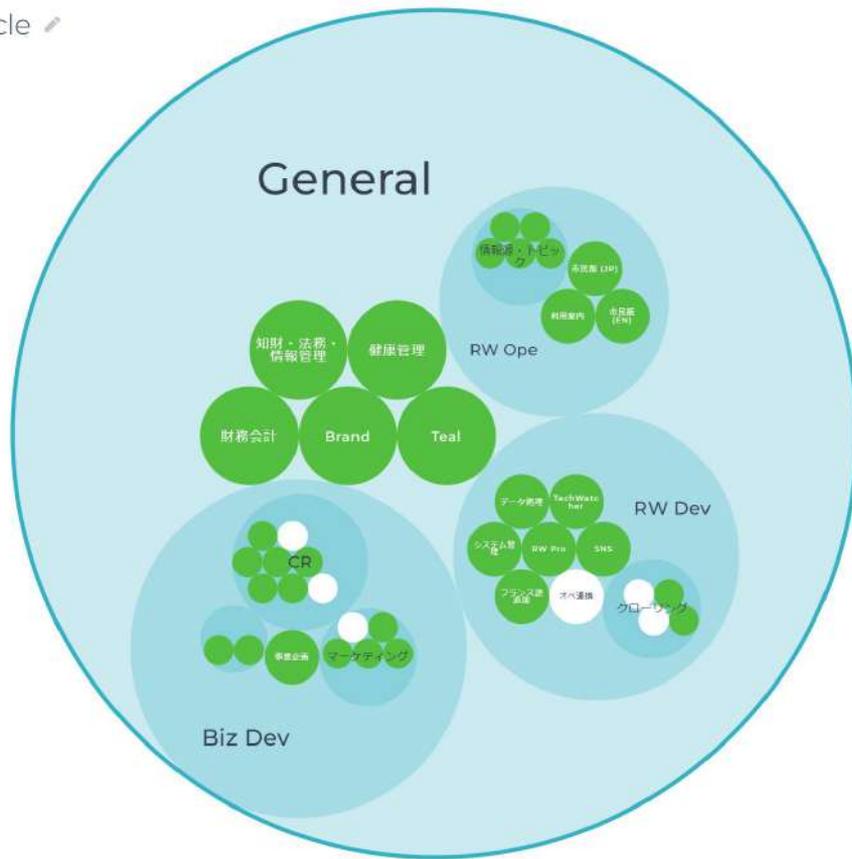
地方都市の20名程度の会社でどうやって？

# 株式会社オシントックの 独特な組織・独特な働き方



# とても変わった組織図

General Circle   
General



## オフィスはバーチャル（コロナの前から全員がリモートワーク）



本社所在地は兵庫県神戸市ですが、メンバーの住所はバラバラ。  
最も遠い人は、エジプトとケニアに住んでいます。

Voice Pingより

履歴書を取ったことがない



RuleWatcherを  
使ったディベート  
大会を主催したい

気候変動会議の会場  
の周りで、日本政府  
に言いたいことを外  
国人から集めたい

講座受講生と  
ごだわりを捨てる  
お焚き上げ奇祭  
をやりたい

メルマガで  
オシントック  
キャラを主人  
公にした連載  
小説を書きたい

# 組織や働き方についてガイドブックを公開している



「仮面をかぶらない  
自分自身で働こう！  
というようなことが  
書いてあります。」

<https://www.osintech.net/culture>

## これからの新しい働き方と組織

New ways of working style and organization Case of IT venture companies

《原著論文》

これからの新しい働き方と組織 - ITベンチャー企業を事例として -

New ways of working style and organization - Case of IT venture companies -

竹下 智 (安田女子大学 現代ビジネス学部 現代ビジネス学科)

【要旨】

テレワーク/リモートワークの活用は、業務生産性向上、新規雇用・離職防止、社員のワークライフバランス向上、コスト削減/節電、事業継続性確保 (BCP対策)、社会課題解決など多くのメリットがある。加えて、コロナ禍を経て、今後は人材確保という点で、企業経営には重要な経営施策となる。

本稿では、完全リモートワークを実施しているITベンチャー企業を事例として、テレワークの実施・定着のためのポイントという観点のみならず、マネジメントの観点からの経営施策として分析し、経営組織および個人の働き方の問題として捉え直した。

テレワーク/リモートワークをこれまで以上に、効果的に活用するには、社員の自律に仕せる経営をすることが必要である。デジタルを活用した変革であることをトップが十分に認識、理解し、ICTツールの活用とあわせて、経営施策として、ビジネスモデルの構築/転換、組織形態、人事評価などの施策を見直すことがポイントである。さらに自律したプロフェッショナル人材が個人事業主として、テレワーク/リモートワークを活用して、企業と業務委託契約を結ぶ新しい働き方についても言及した。

【SUMMARY】

Utilizing telework/remote work has many benefits, such as improving work productivity, hiring, preventing turnover, improving work-life balance for employees, reducing costs/saving electricity, ensuring business continuity (BCP measures), and solving social issues. In addition, after the coronavirus pandemic, in terms of securing human resources, utilizing telework/remote work will become an important management measure for corporate management.

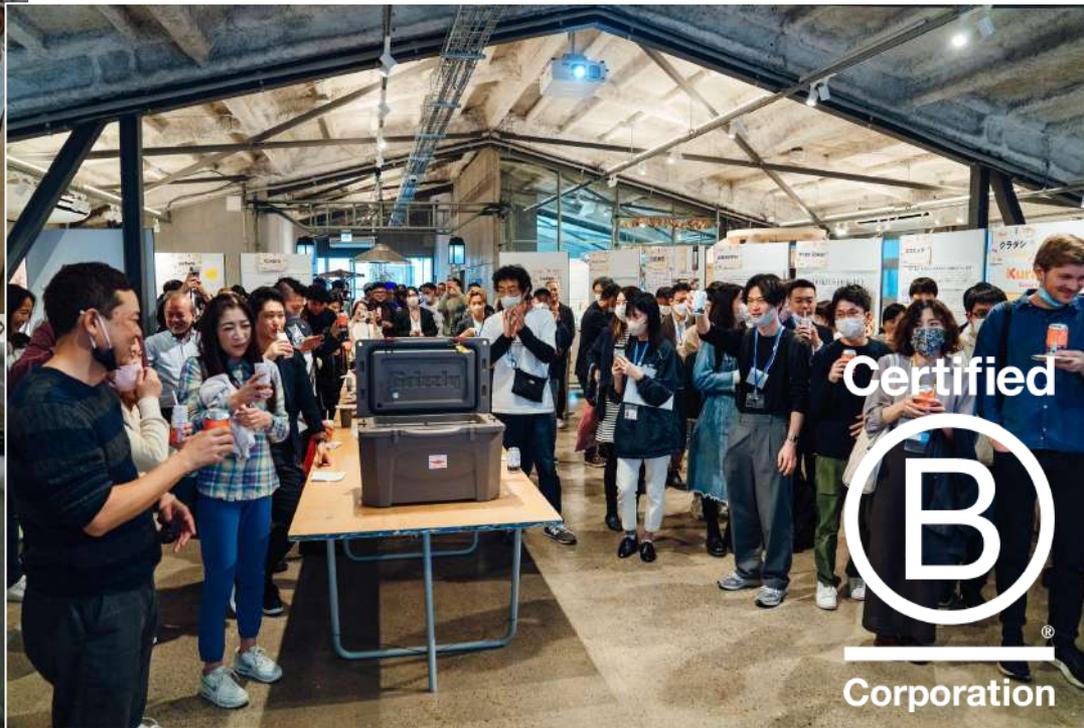
This paper uses an IT venture company that implements completely remote work as a case study, to analyze not only as key points for implementing and establishing telework, but also as management measures, management organizations, and reconsiders as issues both management organizations and individual's work style.

In order to utilize telework/remote work more effectively than ever before, it is necessary to manage the business in a way that leaves it to employees to be autonomous. The key is for top management to fully recognize and understand that this is a transformation that utilizes digital technology, and to utilize ICT tools as well as review management measures such as business model construction/transformation, organizational form, and personnel evaluation. I also mentioned a new way of working utilize telework/remote work, in which autonomous professionals enter into outsourcing contracts with companies and work as sole proprietors.

## B Corp認証とムーブメント



2022年3月にB Corp認証取得（日本で11番目）  
「社会的な価値で企業を評価する」  
という思想を世界的ムーブメントに



タテワリが生んだ問題に  
領域を越えるアプローチを

複数の専門家の協力ののもとに、防災教育ワークショップに発展



広島市ワークショップ



姫川は大丈夫かな？

白馬村ワークショップ

加古川はどうかな？



加古川市ワークショップ

X-BRIDGE ツールキット



データ入力  
フォーム

全国Q地図



説明資料

みんなの入力した情報で  
橋のハザードマップが！



こんなローカルデータが欲しかった！

全国Q地図(地理院タイル・ハザードマップ)からの作成イメージ

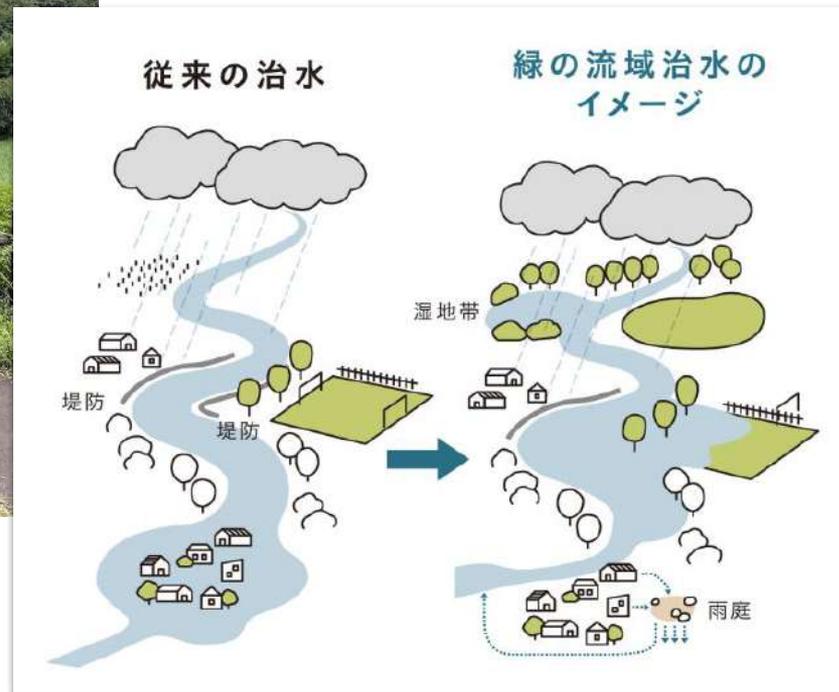
気候変動研究者

## 取り組みが認められて受賞も

- アーバンデータチャレンジ2022年  
銀賞 / 土木学会賞（ダブル受賞）
- 防災教育チャレンジプラン採択



## この活動からつながった「共創の流域治水」(熊本県)



画像出典: 熊本県立大学

さらに広がったグリーンインフラ市民学会「水の環フォーラム」(全国)

横断領域で「あるべき水の循環」を目指す

2025年9月にシンポジウム開催  
@神戸市KIITO



## アドボカシーに「エビデンス」を！新しい市民活動の形を目指す



市民・産業界・学术界・行政などの境界をまたぐイベントを開催



# スウェーデンからの来日団体と行ったサーキュラーエコノミーのラウンドテーブル

日英2言語対応

**10/16(月)**  
16:00~18:00

**北欧と起こす循環イノベーション**  
~スウェーデンと日本の循環技術やビジネスデザインを互いに紹介し  
「その手があったか!」を探るラウンドテーブル~  
In 神戸酒心館ホール/オンライン (ハイブリッド)

15:30 開場・受付開始  
16:00 イベントスタート  
日本・北欧それぞれの知見  
日本の「実はすごい!循環技術」の紹介  
EUの環境先進都市マルメ市のポテンシャル  
などの発表をもとに、予定調和抜きで、両地域相互補完関係を探ります。  
18:00 イベント終了  
18:30 - 20:30懇親会 (任意:会費制)

**ミカエル・ノード**  
Chairman / Japan Bridge  
Scandinavia

**原田幸明**  
国立開発研究法人物質・材料研究  
機構名誉研究員

**小田巨人**  
コーディネーター  
(株)オシテックCEO  
探究インテリジェンスセンター長

**お申込み**



**開催概要**  
日時 | 令和5年10月16日(月)16:00~18:00 ※懇親会18:30~20:30  
場所 | 神戸酒心館ホール(兵庫県神戸市東灘区御影塚町1-8-17) / zoom  
定員 | 会場80名 / zoom100名  
言語 | 日英 ※毎日観察団のなかに日本語を話す方がいます。通訳もサポートに入ります。  
参加費 | 無料 (懇親会費:8000円)

主催: オシテック 探究インテリジェンスセンター  
共催: Intelligence Watch、CE、MVC研究会  
後援: 兵庫県、日本貿易振興機構(ジェトロ)、神戸新聞社、神戸酒心館  
協力: 神戸市、神戸市産業振興財団、兵庫県国際交流協会

原田先生にご登壇いただき、日英2言語対応で循環技術やビジネスデザインをディスカッション



## JICAの研修生とともに考える「Global South の想像的問題解決」



ひとの知性を羽ばたかせ  
ともに答えを創れるプロダクトに

## 問題群の関係から情報を探索できる、RuleWatcher2.0



※画面内の表示はイメージです

RuleWatche2.0には、新UIもリリースされます！

# 社会の問題を解決したい人のための「Study Group Lounge」

